

やる気もりもり明野の子



明 野



4つの気の充実～元気（げんき）・本気（ほんき）・根気（こんき）・勇気（ゆうき）～

感動をありがとう

谷 川 充 穂

4年に1度のスポーツの祭典、平昌オリンピックが2月25日をもって、17日間に及ぶ熱戦の幕を閉じました。結果は以下のようになりました。

メダリスト・入賞者合計								
金メダル	銀メダル	銅メダル	4位	5位	6位	7位	8位	合計
4	5	4	3	10	7	4	6	43
合計13			合計30				(入賞者総数98)	

平昌オリンピックには選手として124名、役員として145名、計269名もの日本人が参加しました。結果もちろん大事ですが、選手一人一人がこの大会に向けて、数々の試練を乗り越え、たくさんの人たちの協力を得ながら、不断の努力を積み重ねていったことでしょう。

フィギュアスケートで金メダルを取った、羽生結弦選手は、古傷がたくさんあります。腰や左ひざ。足首の剥離（はくり）骨折。2014年11月の中国杯で他の選手と衝突し、頭部や左太ももなど5カ所を負傷。昨年11月に痛めた右足首の捻挫。そのたびに復活を遂げてきた精神力と徹底した自己管理は想像を絶するものがあります。コーチのブライアン・オーサーさんは「結弦の金メダルの最大のメッセージは、スポーツに限らず、人生で困難を抱えていても、乗り越えられるんだと証明したことだ」とおっしゃっていたそうです。

スピードスケート女子500mで金、1000mで銀をとった小平奈緒選手は、500mのレース終了後、客席からの大きな歓声が上がったとき、指を立てて口に当てました。「次のレースがあるから、静かにしましょう」と言うかのように。さらに泣き崩れるライバルである李相花さんを抱擁し、「たくさんプレッシャーの中でよくやったね、リスペクトしているよ」と言ったそうです。競い合い、励まし合い、尊敬し合う友達がいる、なんて素敵なことでしょう。

この二人の言動は、まさにスポーツマンシップと言えると思います。

失敗や数々の困難を糧にし、乗り越えることの大切さ、人を尊重することの美しさ、かっこよさを改めて学ぶことができたような気がします。

オリンピック競技では、得てして、メダルの数とか色、勝敗に目を奪われがちですが、子どもたちに、スポーツマンシップを伝えるよい機会だと感じています。ご家庭でも話題にしてはいかがでしょうか。

本校の児童もオリンピック選手に負けていません！

寒さを吹き飛ばせ！スケート学習

今年の冬休みは皮肉にも雪が不足で、学校リンクの造成ができませんでした。例年であれば学校リンクで思いっきりスケート学習を行っている頃なのに本当に残念です。



2 / 16 全学年でハイランドスケートセンターへスケート学習に行ってきました。久しぶりの氷の感触、限られた時間でしたが、寒さを吹き飛ばし、思いっきりスケートを楽しんできました。

低学年は転び方や立ち方から始まり、高学年ではスタート、ストップや集団で滑るなどの動きを学んでいました。さすが苫小牧っ子！

氷の上はお手の物！自分の技術に合わせて冬のスポーツをたっぷり楽しんでいました。

卒業まであと・・・

3 月 20 日の卒業式までカウントダウンとなりました。各学年の飾り付けなども始まり、お世話になった 6 年生を送り出す準備が始まりました。



児童玄関ホールには書記局が 6 年生の旅立ちを応援する横断幕が飾られました。



卒業していく 6 年生の教室には一人一人が準備したカウントダウンカレンダーが登場しています。卒業生も、在校生も巣立っていく 6 年生をここからお祝いする準備が始まっています。一人一人が思いを一つにして、思い出の

学舎を巣立ち、その旅立ちをお祝いしたいと思っています。6 年生の立派な姿を全力で応援したいと思います。

3月の行事予定

- 1 日 (木) 5 年読み聞かせ
- 6 日 (火) 5 時間授業日
- 8 日 (木) 6 年読み聞かせ
5 時間授業日
- 13 日 (火) 5 時間授業日
- 14 日 (水) 南米留学生交流学習 (3 年)
- 15 日 (木) 5 時間授業日
- 16 日 (金) 大掃除
- 20 日 (火) 第 24 回 卒業式
- 21 日 (水) 春分の日
- 23 日 (金) 修了式・離任式
- 3 月 24 日 (土) ~ 4 月 5 日 (木)
学年末・学年始休業

卒業まであと・・・

- H30 始業式・着任式 4 月 6 日 (金)
- 入学式 4 月 9 日 (月)
- PTA 総会 全校参観日
4 月 14 日 (土)



漢字が覚えられない・・・

「なかなか漢字が覚えられない」といっ子がいます。もちろん練習不足のせいの場合もありますが、その要因は一つではありません。特別支援では、まず、その子のつまづきの原因を探るところから始めます (検査などの実施)。

何度も書いて練習しているのに覚えられないという場合、考えられるのが、『記憶』の問題と『ものの見え力』の問題です。

漢字の覚え方にはタイプがあり、「書き順通り覚えるタイプ」「全体の形をスタンプのようにとらえて覚えるタイプ」と大きく 2 つに分けられるようです。なかなか漢字が身に付かない子には、書き順通りに覚えることが苦手な子が多いです (物事を順序良く整理して覚えられない)。更に、線の重なりをうまくとらえられず、1 つの漢字を一画ずつにはらせないということもあります。

特別支援学級では、それぞれの苦手さやその原因に合わせたトレーニングに取り組んでいます。



インフルエンザがまだまだ猛威を振るっています。1 月下旬に最初の学級閉鎖を行ってから、現在 2 回目の波が来ています。中には時期を明けて 2 回目の学級閉鎖になったクラスも出ました。全校で 14 クラス中 10 クラス (うち 3 クラスは 2 回) も学級閉鎖になりました。

うがい・手洗い、教室の換気、ぬれタオルによる湿度調整・・・各クラスで子ども達は自衛に取り組んでいるのですが、なかなか収束する気配が見られません。毎週連休明けの月曜日の大量欠席が見られています。人混みの中に出る機会が多くなるためではと考えられます。いよいよ 3 月！卒業式までもうすぐです！うがい手洗い、睡眠、休養に一人一人が心がけ、みんな元気に卒業式・修了式を迎えたいと思います！



平成 30 年 2 月 2 8 日

学校通信 第 1 3 号

苫小牧市立明野小学校